

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

幼児・児童生徒の障がいへの重度・重複化、多様化に対応した教育の充実

## 子どもたちの 願いを 「設置基準(特別支援学校)に！」

### 教育場面における合理的配慮の提供(教育環境の整備等)

全国の特別支援学校、特に知的障害と肢体不自由の学校では、過大・過密が放置された状態が続いています。特別支援学校の児童生徒数は2007年の特別支援教育施行以降に著しく増加した一方、特別支援学校に『学校設置基準』が定められていないため、学校の増設はそれに見合っていないため、増設できませんでした。

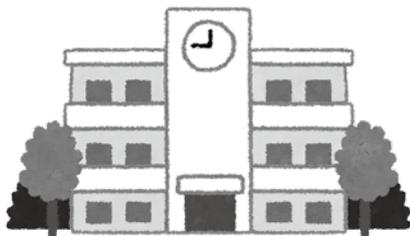
こうした状況の改善のため、2011年に「設置基準の策定を求め豊かな障害児教育をめざす会」(「めざす会」)が全国の教職員と保護者、研究者などで結成され、設置基準策定を求める国会請願署名などに取り組んできました。しかし、政府と文科省は「個々の障害や年齢に応じた柔軟な対応ができるように設置基準を設けていない」との姿勢でした。

札幌市内の知的特別支援学校(小中高併設)でも、児童生徒数が学校建設時の2〜3倍以上に増え、300人の学校もあります。2019年5月現在で道内の教室不足数は112教室です。教室を確保するために、特別教室を転用したり、一教室を仕切ったりし

てきました。学校増設もありましたが、改善されませんでした。

こうした特別支援学校の劣悪な教育条件の実態が明らかにされるなかで、2019年の参議院予算委員会で安倍前首相が「(特別支援学校の)教室不足の状況について」政府として現状を把握しているし、現状を放置する考え方は全くない」と初めて答弁。翌年9月の中教審中間まとめで「設置基準を策定し、新築や増築などの集中的な推進が求められる」とされ、文科省も設置基準策定の方針を示しました。

「めざす会」などは、学校設置基準が特別支援学校の過大・過密状態を解消する内容となるために、全国の関係者に意見を募集しました。札幌市手をつなぐ育成会からは、たくさんの方の率直なご意見をいただき、参考にさせていただきました。そ



これらの意見をもとに、2020年12月に次のような「設置基準策定に向けての提言」(概要)を発表しています。

- 1校の児童生徒数の上限は150人以下
- 必要な施設設備に教室(普通教室、特別教室)、図書室、保健室、職員室に加えて、どの障害種にも必要な特別教室(自立活動室、作業室、ブレイルーム、ケアルーム等)を記載
- 校舎・運動場・体育館・寄宿舎面積を児童生徒数・学級数に応じて障害種ごとに定める
- 分教室は病院内などに限定、他は分校に
- 高校などの空き教室利用は緊急措置のみに限り、新設を基本にする
- 現在ある学校を設置基準の適用外としない

今後、私たちの願いが盛り込まれた、この「提言」を広め、多くの関係者と共に、一日も早い「設置基準の策定」を求めています。

(北海道障害児教育フォーラム  
実行委員会 事務局長 藤田明宏)

\*全育連は2020年7月、文科省に対し「特別支援教育関係予算編成等への重点要望項目」を提出。インクルーシブ教育システムの着実な構築と基礎的な環境整備(教員の資質向上・教育環境の整備・社会的理解啓発等)を強く要望しています。

## (概要)

# 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種に関する要望

1 重症化リスクのある基礎疾患を有する人等への確実な優先接種をお願いします

・基礎疾患のある知的障害児者や、重度重複障害児者等

2 障害福祉サービス事業所などのにおける集団接種の際にはご配慮をお願いします。

・障害特性を考慮し、慣れた施設や医療機関での柔軟な接種（対応）を

・障害福祉サービス事業所や支援施設単位で接種する場合、当該事業所等利用者のうち、接種順位が最も高い人へタミニングを合わせた実施を

3 接種に関する本人意思確認の支援をお願いします。

(1) ワクチンの接種による効果と副反応、期間をあげて2回接種する必要性等、知的障がい児者に情報提供するリーフレット等を作成し、広く周知を。

(2) 分かりやすい情報提供を基礎とし、接種の希望について、可能な限り丁寧に本人の意思を確認する取り組みを。



我が国におけるワクチン接種の開始にあたり、令和3年2月22日、(一社)全国手をつなぐ育成会連合会は「厚生労働大臣、田村憲久様」へ標記の要望書を提出しました。

また、それを受け、26日、(一社)北海道手をつなぐ育成会も、同内容で「北海道知事、鈴木直道様」へ要望書を提出。さらに、各地区手をつなぐ育成会(親の会)連絡協議会の役員の方へ、道内各自治体(市町村)へ向けた要望活動呼びかけをしています。

また、これらの要望事項は、知的障がい児者だけではなく、他の障がいの方々にも共通します。そこで、共に要望書の提出をと、他の親の会等へも呼びかけ、現在、検討をお願いしています。

## 魅力ある事業所づくり研修会

終了

北海道手をつなぐ育成会通所事業所連絡協議会が主催する標記の研修会ですが、昨年、10月31日(土)に開催を予定し、準備を進めていました。しかし、道による独自基準「警戒ステージ2」の発出にとまどない、コロナ感染症拡大のリスクを避け、研修会の延期を決定。本年、2月28日(日)、開催方法を集合方式のみから、「オンライン方式」と「集合方式」を併用する「ハイブリット方式」に変更して実施しました。



当日、札幌会場(かでの2・7)に直接参加した会員は、28名。オンラインによる参加者は、10ヶ所42名、計70名に及ぶ参加をいただきました。

午前の《講座一》では『白戸浩雅氏』(札幌会白石かがやき園係長)による「これからの事業所運営」利用者との関りについて。午後の《講座二》では『又村あおい氏』(全育連常務理事兼事務局長)による「令和3年度報酬改定の動向について」新型コロナウイルス対応も含めて「をテーマにご講演をいただきました。



・勉強になることばかりで大満足。  
・具体的な事例を交えた「虐待防止」の話が大変分かりやすく、とても参考になった。  
・報酬改定のために不安だった。資料だけでは分からないこともあり、本日の丁寧な説明に感謝。

参加者アンケートには、コロナ禍における研修会の開催形態として「ハイブリット方式」は大変有効であるとの評価をいただきました。ぜひ、今後に生かしていきたいと思えます。なお、(株)ジェイアイシー北海道支店の皆さんには、Zoom操作の部分でご支援をいただきました。感謝申し上げます。

## 「コロナなんかには負けないぞ！」<sup>2</sup>

各地区育成会ではコロナ禍にあっても、知恵を絞って、当事者の皆さんが楽しく文化に触れ、様々な体験を通じ、生活のスキルアップをめざす事業「生活文化教室」を実施しています。

3つの育成会の取り組みを紹介します。

### 「紅蓮華」太鼓演奏で

#### 大盛り上がり！

千歳

2月20日、広めの会場を確保し、窓を開放して換気に配慮、マスク姿の総勢15名が参加しました。この日のために購入した真新しい太鼓を使い、TV「鬼滅の刃」テーマ曲「紅蓮華（ぐれんげ）」の演奏に挑戦です。

まずは、ドラム譜に合わせて叩き方を練習。少し慣れたところで、講師（音楽療法師）のキーボード演奏と合わせます。立ち上がって演奏する人、思わず体全体でリズムを刻む人が続出。とても楽しいひと時を過ごすことができました。後半にはドラム演奏の鑑賞と演奏体験も加わり、今までのモヤモヤを吹き飛ばす「全集中！太鼓の呼吸」となりました。

（千歳市手をつなぐ育成会 青木繁雄）



### 「お寿司（鉄火巻き）」で

#### みんな笑顔！

苫小牧

2月23日、18名の参加者で料理教室「のり巻きを学ぼう」を開催。この度は、市内及び近郊で回転寿司を展開する久恵グループの職人さんに、出張握りをお願いし、鉄火巻きのつくり方を教えていただきました。

シャリの量、伸ばし方、巻き方を一人一人丁寧に教えていただき、全員が自分ののり巻きを完成することができました。

また、当日は密を避けるために、プロジェクターを用意して離れたところでも職人さんの握っている手元や、他の参加者が巻物をしているところを見ながら学ぶことができました。その他にも職人さんは、厚焼き玉子を説明付きでつくり、その後、数名の参加者と一緒に焼いてくれました。

参加した方は初めての体験に大変喜び、特に、のり巻き体験は初めての方がほとんどで「うちでも作ってみる」「お母さんに教えてあげる」などの感想が続きました。

何より、今回の教室では普段、かかわることの少ない、寿司職人さんとの交流ができ、大変良い体験となりました。

（苫小牧市手をつなぐ育成会 東元みどり）



### 「書初め」で気持ち新たに！

室蘭

北海道手をつなぐ育成会の補助事業である「生活文化教室開催事業」を活用させていただき2月20日、「習字教室」を開催しました。

「習字なんて小学校以来だわ」という方がほとんどの中、講師の方から本格的な「止め」・「跳ね」・「払い」をしっかりと学んだあと、思いおもいに好きな字を書いていただきました。慣れない筆字に悪戦苦闘し、テーブルを汚しながらも「思ったより楽しい！」「習字っていいね！」など、笑いながら楽しく活動ができました。

今年度、室蘭では「コロナ渦でもやれることをやろう！」と感染対策を行いながら活動を行ってきましたが、制限が多く、ちよつと物足りなかつたかなと感じております。1日も早く感染拡大が終息し「思いっきり楽しむ」時間が戻ってくることを心から願っています。

（室蘭市手をつなぐ育成会 鈴木大輔）



## 今後の予定

4月19日(月) 第1回 理事会  
5月24日(月) 定時総会

# 知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

AIG損保の普通傷害保険

## 生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2 F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき  
入院給付金

賠償責任を負ったとき  
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき  
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金  
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき  
弁護士費用等補償  
※プランによって補償します

病気で死亡したとき  
疾病葬祭費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり  
物を壊してしまったとき  
職業従事者事故対応費用補償  
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねてる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

知的障がい・  
発達障がい、  
ダウン症、  
てんかんの  
ある方、  
ご家族に

病気やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
あんしん保険  
少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
こども傷害保険  
後引健康補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、  
弁護士がサポート



このようなお困り事に  
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: http://www.z-kyosai.com/

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が  
全面的に  
サポート

## 『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の  
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

## 北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かねてる2・7 (4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

## ★会員事業所紹介★



特定非営利活動法人 伊達市手をつなぐ育成会

ワークセンターえるむ (多機能型サービス事業所)

〒052-0023 伊達市元町54番地1

電話 (0142)23-7355 FAX (0142)25-6391

E-mail: datesi-tewotunagu@tulip.ocn.ne.jp

☆生活介護…20名

☆就労継続支援B型…40名  
計60名定員

★主な作業

☆洗濯物捌き

☆手芸品の制作・販売

☆クッキー製造・販売

☆施設外就労

(社会福祉施設4カ所・企業1カ所)

